

シニア記者が目撃した不祥事・トピックス（10月中旬～11月中旬）

「👁️」は注目すべき・見逃せない案件、「喝！」はけしからん・憤りを覚える案件
 ※はコメントを記載

日付	ニュースの概要	江口	大澤	佃	山下
10/ ～	ウクライナ軍 南部の要衝を奪還 反転攻勢も出口見えず混迷深まる			👁️	
10/20 ～	三菱電機 「物言えぬ組織」に問題 製品不正で外部調査委が最終報告書		喝！		喝！
10/20 ～	ADK 社長 五輪贈賄容疑で逮捕 元理事会社のコンサル料に賄賂性	👁️			
10/20 ～	神戸家裁 「少年A」の全記録廃棄 経緯は不明「適切ではなかった」			喝！	
10/24 ～	山際経済再生相 旧統一教会で更迭 葉梨法相、寺田総務相と更迭相次ぐ	喝！	喝！ ※		👁️
10/28 ～	EU 2035年ガソリン車の販売禁止 ハイブリッド車も禁止、EV化加速		👁️		
10/29 ～	韓国ハロウィン事故 158人が死亡 警備体制不備で政権揺るがす事態に			👁️	
10/29 ～	佐藤九段 マスク不着用で反則負け 将棋A級順位戦で前代未聞の椿事				喝！ ※
11/3 ～	Jアラート 「上空通過」を修正 日本列島超えず、日本海上空で消失	👁️			
11/4 ～	ツイッター 新オーナーが大量解雇 米IT/テック企業で人員整理相次ぐ			👁️ ※	👁️ ※
11/11 ～	米・暗号資産交換業大手 経営破綻 FTXが裁判所にチャプター11申請			喝！	👁️
11/11 ～	トヨタなど8社 半導体新会社設立 「日の丸半導体」復活へ経産省支援		👁️		
11/11 ～	広島特別支援学校 バスに置き去り 介助員が確認忘れ 45分児童を放置	👁️			
11/13 ～	岸和田保育所 2歳女児車内で死亡 父親送り忘れ、保育所欠席確認せず	喝！ ※			
11/18 ～	10月の消費者物価指数 3.6%増 40年8か月ぶりの歴史上昇幅		👁️		

◆ シニア記者のコメント ◆

10/24～ 閣僚の更迭、相次ぐ

●また閣僚辞任、岸田政権に信望はあるか

この1か月間で主要閣僚3人が辞任した。旧統一教会との“癒着”による山際大志郎経済再生担当相(10/24)に続き、葉梨康弘法相が死刑をめぐる不謹慎発言(11/11)で、さらに政治資金問題で寺田稔総務相(11/20)が辞任した。岸田首相は衆院本会議で「任命責任を重く受け止めている」と謝罪した(11/21)が、国民の多くは首相と政権への失望感を強めている。

そもそも8月10日に発足した第2次岸田改造内閣は「心機一転、難局突破、政策断行」を掲げていた。だが現実には事実関係を隠蔽し死刑執行を茶化すなど、閣僚の不祥事対応に追われた。また政策面でも「新しい資本主義」の中身と社会像が、なかなか見えてこない。筆者は政治は門外漢だが、何かが欠けている気がしてならない。

書棚を探すと、宏池会の大先輩・大平正芳氏(1980年没、70歳)の言葉が見つかった。1971(昭和46)年春、同会第3代会長に就任した同氏はエッセイ(小論文)でこう語った。「権力にはもっと深い根元的なものがなければならない。術策の分量やその組み合わせの巧拙よりも、権力主体の集める信望の大きさが、その権力に本当の信頼と威厳をもたらすものである」(『大平正芳 人と思想』1990年)。

大平氏は78年12月に第68代首相に就任し、農山村と都市のバランスの取れた人間社会「田園都市構想」を目指したことは広く知られている。わずか2年後の総選挙中、心筋梗塞で急逝した。

岸田内閣の支持率は今月もまた、低下した。朝日新聞の11月世論調査(11/15掲載)では支持率37%(前月40%)と最低となり、不支持率が51%(同50%)と3か月連続で不支持率が支持率を上回った。岸田首相に挽回策はあるのだろうか。(大澤賢)

10/29～ 佐藤九段 マスク不着用で反則負け

●反則負け裁定に異議あり！／マスク規定が「筋悪の悪手」

前代未聞の椿事である。盤面に集中するあまり、思わずマスクを外した棋士が反則負けになってしまったのだ。反則を告げられた棋士は納得がいかず、「反則負けを取り消し、やり直すとすべき」との不服申立書を日本将棋連盟常務会に提出。その全文をツイッターで公開した。コロナ禍が続く今の時代を映す、このマスク騒動には、広く老若男女の関心が集まっている。さて、あなたは反則負け「やむなし派」それとも「厳しすぎ・再戦すべき派」のどちらに与しますか？。

“事件”が勃発したのは、10月28日の佐藤天彦九段と永瀬拓矢王座のA級順位戦(順位戦は棋士にとって最重要の棋戦で、A級に所属するのはトップ10人)での対局。終盤の勝

負所、佐藤九段が30分ほどマスクを外してしまった。対局相手の永瀬王座が「反則なのは」と、関係者に訴え、佐藤康光日本将棋連盟会長らの裁定により佐藤九段の反則負けが決まった。日本将棋連盟では、今年2月に「対局中は一時的な場合を除きマスクを着用しなければならない、違反したら反則負けとする」との臨時規定を定めており、その規定に基づく判断であった。

佐藤九段の申立書の要旨は「過失犯についての明文がない場合では、故意犯のみを処罰する趣旨であると解釈されるべき。何らの注意も一度もなされないまま判定が下されるのはあまりに酷。規定の本来のあり方（感染防止拡大のための牽制的な条項）と乖離している」というもの。ちなみに、囲碁の世界では、「立会人が警告を発し、従わない場合は反則負け」と、イエローカードの次にレッドカードを出す規定を設けている。

反則負けに関して、岡野タケシ弁護士がYouTubeで「規定がある以上、やむを得ない」と、いかにも法律家らしい見解を述べている。当方は、佐藤九段に肩入れし「再戦とすべき」に一票を入れたい。理由は、うっかりミスによる30分間のマスク不着用と反則負けのペナルティは不釣り合いで、ペナルティが重すぎると思えるからだ。不着用の時間が30分でなく5分、10分でもアウトなのか、何分以内ならセーフなのかといった疑問が沸いてくるのも問題だ。

そもそも、対局中はほとんど無言の対局者二人にマスクは必要なのか。非科学的であり、「筋の悪い悪手」にしか見えないのが、このマスク不着用＝反則負けの規定制定である。日本将棋連盟に喝！。同規定では「改廃も検討する」とうたっている。すみやかに改定し、最低限、イエローカードなしの一発レッドカードは即刻、見直すべきだろう。（山下郁雄）

11/4～ ツイッター 新オーナーが大量解雇

●米メガIT企業の大規模人員整理が相次ぐ／ドラスティック&ダイナミズムが強みとはいえない

記者が書くコラムの少なからずが「注目する」で終わるのは、読者に「これって重要だよ」とアピールするためです。平たく言えば、自分は重要だと思っている、という意味で、それ以上でもそれ以下でもありません。

ところがここでいう「注目」には、「訳がわからん」の意味が含まれています。継続してウォッチしていかないと、ますます分からなくなってしまいます。過度なインフレではあるものの、米国の景況は悪くないように見受けられます。なのになぜ米国のメガIT企業は大規模なリストラに踏み切ったのか、です。

Twitter社の2021年業績は、売上高が前年比37%増の51億ドル（1ドル＝140円換算で7,140億円）、純利益が2.2億ドル（308億円）の赤字でした。イーロン・マスク氏が買収した直後、従業員7,500人の過半数3,700人を解雇しました。日本法人の従業員も例外でなく、メール1つで職を失ったと伝えられます。

●テック企業にも同様の動き

facebook で知られる Meta 社も 1 万 1000 人を解雇しました。同社の 2021 年業績は売上高が 30.6%増の 1,179 億ドル (16 兆 5,060 億円)、純利益は 38.5%増の 393 億ドル (5 兆 5,020 億円) で、逆立ちしても「業績悪化」とは言えません。

1 万人の解雇と新規採用の縮小を発表した Amazon 社はどうでしょうか。売上高は 21.7%増の 4,698 億ドル (65 兆 7,720 億円)、純利益は 56.4%増の 333 億ドル (4 兆 6,620 億円) となっています。ドラスティックとダイナミズムが強みとはいえ、表向き人員整理の要因は見当たりません。

日本であれば他産業の追従が懸念されるどころです。しかし米国では、EV の Tesla、フード・デリバリの Uber、住宅ローンの Better.com といったテック企業が同様の動きを見せているものの、既存の製造業やサービス業のリストラは顕在化していません。

●バブル崩壊なら日本に波及

ある専門家は、人材確保のために高騰した人件費が要因と指摘しています。なるほどエンジニアの平均年収が 1,100 万円、Google 社にいたっては 3,800 万円ともなれば、景況に敏感にならざるをえないかもしれません。

もう 1 つは、米国の金利政策によって IT/テック関連株の下落が懸念されるという見方です。米国でバブルが弾けたら、日本にも大きな影響が及びます。余剰人員の整理、待遇・処遇の調整、景況悪化に備えた先手——その中に正解はあるのかなのか。継続してウォッチして行かないとね、というわけです。(佃均)

11/4~ ツイッター 新オーナーが大量解雇

●連続起業家+夢想家+ワーカホリック/イーロン・マスクとは何者か

米国 IT 大手の相次ぐ大量解雇が大きく報じられている。なかでも、ツイッターを買収したイーロン・マスク CEO による矢継ぎ早の人員削減が、その手法の激しさ、大胆さからひととき話題を呼んでいる。世界 1、2 の大富豪で、一挙手一投足が世界中から注目されるイーロン・マスクとはいったい何者なのだろうか。

買収を決めたマスクは、両手で流し台 (sink) を抱えながらツイッター本社に乗り込んだ。笑顔で流し台を抱える画像をツイッターで公開したため、各メディアが、その謎解きに挑戦した。「sink を持って会社に in した=sink-in (貫く、やり通す) というメッセージなのでは」「Everything but the kitchen sink=総とっかえを意味する慣用句にひっかけて、sink をも含む根こそぎの大改革を表したのでは」…。何が正解にしろ、常人では思いつかないアイデアを実行に移すマスクならではのパフォーマンスである。

1971 年、南ア共和国で生まれた。両親の離婚で、母親の出身地カナダに移住し、米ペンシルベニア大で物理学と経営学を学ぶ。卒業後、ウェブソフト会社を起業し、99 年に世界初のネットバンキング「Xドットコム (のちのペイパル)」を、2001 年にはロケット開発

会社「Xスペース」を創業。04年、電気自動車開発の「テスラモーターズ」に出資し会長に就任。15年、脳神経科学開発企業「ニューラリング」および地下高速道路開発企業「ボーリング・カンパニー」を説立。22年「ツイッター」を買収。

シリアル・アントレプレナー（連続起業家）と呼ばれる人たちでも、たいていは、一つまたは二つの得意分野での起業となる。その点、マスクの起業分野は極めて広範囲で、起業家大国・米国においても珍種と言えよう。先人に類型を求めると、銀行、保険、製紙、印刷、鉄道、ガス、倉庫、造船、セメント、建設、肥料、ホテル等々、全方位の産業に関わった渋沢栄一が一番近いかも知れない。

「100人乗りの有人宇宙船を火星に送り込む」「地下トンネルによる新交通ネットワークを全米に張り巡らす」「脳にチップを埋め込み、脳疾患の治療や、芸術などの潜在能力の開花につなげる」…。マスクは夢物語のようなビジョンを次々と打ち出すビジョナリー（≒夢想家）で、ビジョン具現化に向け「火星の植民地化が1週間に40時間（の労働）で実現するはずがない」と、週100時間（土日も入れて一日約16時間）働くワーカホリックだ。

連続起業家、夢想家、ワーカホリックが見事に三位一体化したのがイーロン・マスクであろうか。「絶えず本を読んでいた。いじめられっ子で、ありとあらゆる言葉でののしられ、殴られていた」という少年は、10年ほど前、40代初めの時、カリフォルニア工科大の卒業式でスピーチし、「アーサー・クラークの『飛び抜けて高度な技術は魔法と区別がつかない』という言葉を知ったのが今日につながっている。皆さんは21世紀のマジシャン。ためらわず魔法をつくり出してください」と卒業生に呼びかけた。（山下郁雄）

11/13～ 岸和田保育所 2歳女児が車内で死亡

●「学習しない人々と学ばない企業」

近頃の人々はどうしても「学習する」ことが苦手になってしまったのだろう。11月中旬、大阪府岸和田市で起きた幼児の自動車内置き去り死亡事故。同様の事故が毎年のように発生しているにもかかわらず、父親や保育園はどうして注意しなかったのか。痛ましい事故の報道などに接すれば同じ過ちを犯しかねない立場にある人間なら「今後自分もよほど気を付けねば」と思い、細心の注意を払うのが普通だ。だが、残念ながら今回もそうではなかった。

度重なる事故を受けて政府や自治体、保育園などでは子供の社内置き去りを防止する対策の検討に入った。人感センサーなどを自動車内に取り付け、置き去りがあった場合、大音量で周囲に知らせるなどの装置がすでに開発されているが、はたしてこれで事故を防ぐことができるだろうか。防止装置を装着したことで「たとえ自分がうっかりミスを犯しても最終的には安全装置が働くから大丈夫」との意識が芽生え、かえって緊張感が緩み、逆に事故を誘発してしまわないか、それが心配だ。

置き去り事故を防ぐにはなにも特別な対策や装置は必要ないのではないか。過去の事例から「何をしてはいけないのか」「何をすべきなのか」を学び取り、「二度と同じ過ちを犯さない」と決意するだけで事故は大幅に減らせるだろう。当たり前のことを当たり前にするだけのことだ。

学ぶ力が低下しているという点ではデータ改ざんを繰り返す企業も同様である。エンジン性能に関するデータ改ざんが発覚し生産・販売が差し止められ、甚大な損失をこうむった日野自動車の例をみれば不正がいかにかに割に合わないことか誰にでもわかるはずだ。しかし、学ぶ姿勢がなければ同様の不正は今後も起きるだろう。(江口務)